

これまでの利用環境WG における議論の概要

事務局

平成16年4月13日

ユビキタスネット社会の課題例

情報安全

情報社会

1. プライバシーの保護

2. 情報セキュリティの確保

10. サイバー対応の
制度・慣行の整備

3. 電子商取引環境の整備

9. 環境への配慮

4. 違法・有害コンテンツ
への対応

【行政の対応策例】
予算・支援措置
研究開発
法制度・政省令
組織
指針・ガイドライン
教育啓蒙 など

8. 地理的ディバイドの克服

5. 知的財産権への対処

7. 情報リテラシーの浸透

6. 新たな社会常識の確立

情報倫理

情報格差

利用環境WGの検討フロー

ユビキタスネット社会の「影」についての検討課題を整理

それぞれについて、対応策の有無等を網羅的・俯瞰的に調査

1. プライバシーの保護

項目	対応策			国際的動向	...
	法制度	組織	ガイドライン		
a. - -	法改正				...
b. - -		センター設置			...
c. - -			指針制定		...

ネットワーク利用者の権利や責務を整理

自由な情報流通

例) ・ ネット上の自由な情報発信の保証
・ ネット上の自由な情報アクセスの保証
・ 廉価な情報流通コストの維持

安全な情報流通

例) ・ ウィルス等情報セキュリティ対策の遵守
・ プライバシー保護の徹底
・ 違法・有害コンテンツの自粛

対応済み

普及啓蒙・周知宣伝

例) ポータルサイトの設置
普及イベントの推進
教育現場へのインプット

未対応

対応策を検討

総務省関連

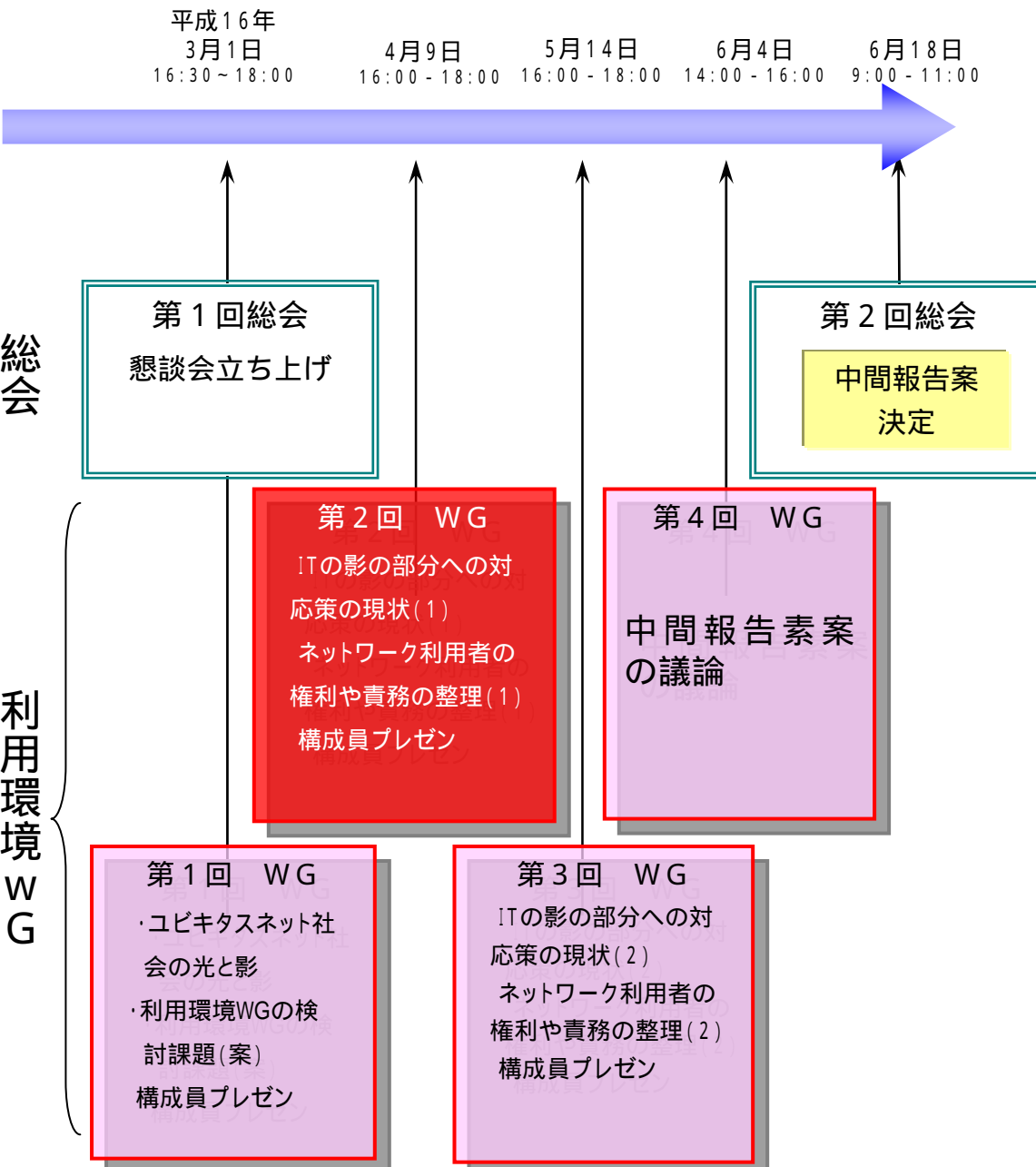
例) 包括的な指針の検討
個別課題に対処する指針の検討

他省庁関連

例) IT戦略本部で議論
他省庁への働きかけ

対応策の打ち出し・実施

利用環境WGの当面のスケジュールとこれまでのご指摘事項



第1回及び第2回の主なご指摘事項

【第1回】

2010年の将来像を検討するので、現時点では予見できない課題についても議論する必要がある。

ユーザ側の自己責任の確立も一つの論点。

デメリットも含め、供給者側が利用者に対して分かりやすい情報提供を行うことが重要。

「何でもつながる」ので波及性効果が高く、ユビキタスネット社会の脆弱性を意識すべき。

【第2回】

検討課題毎に対応策の現状を包括的にまとめたのは、基礎データとして有益。

リスクの程度を評価し、各検討課題に優先順位をつけたり、リスクの当事者別に整理したりするのも一つの方法。

対応策としては技術で解決できるものもある。

「権利」というより「権利・利益」が適切ではないか。また、「責務」は強すぎるので、「役割・責任」とか「目標・ルール」が適切ではないか。